

学校教育目標	めざす子どもの姿(中期的目標)	総合評価					
よく考え、工夫する子ども 人やものにやさしい子ども 進んで取り組み、やりぬく子ども	笑顔あふれる 中塩田の子	・子どもたちが楽しみにしていた盆進祭りでは、笑顔がたくさん見られました。また、音楽会では、練習の成果を発揮して充実した発表をすることができました。栽培活動・動物の飼育・当番活動・委員会活動などを通して重点目標③は、おおむね達成しましたが、①②は、やや不十分でした。どの授業でも見届けでは、振り返りの時間を十分確保して、ノートに自分の言葉で振り返りを書けるようにしていきたいです。また、進んで挨拶することや姿勢に課題が見られたので、児童会と協力しながら全職員で向上するよう取り組んでいきます。					
	今年度の重点目標	成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
	① よく聴いて、自分の考えを書ける子(振り返り・ノート)	自分の考えを書ける児童が増えてきているが、個人差が大きい。教科によっては、振り返りが十分にできていない。			○		導入・板書を簡潔にして、振り返りの時間を確保する。聴くでは、指示をより簡潔明確にする。
	② 自分から挨拶し、相手を大切に子(温かい言葉・思いやり)	教師が進んで挨拶を心がけた所、挨拶をする児童は増えてきた。自分から進んでできるように指導していく。			○		挨拶の指導を引き続き行う。児童会でのあいさつ運動を活発にする。
③ 活動や作業に一人でもこつこつ取り組む子。(黙々活動)	無言清掃に取り組み、だんだんと定着しつつある。やる事が明確になっていると、集中して取り組む事ができる。		○			自分の分担、やることを明確にする。気づき清掃まで意識を高める。	

領域	対象	評価の観点	成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
重点目標	①	わかりやすい板書	「学習問題」「まとめ」を板書計画に位置付け、1時間の授業の流れが分かる板書を心がけているか	授業では「問題」「考え」「まとめ」など、授業の流れがわかり、1時間の内容が簡潔にまとまる板書ができた。学習問題は四角で囲み、分かりやすく書くよう心がけた。			○	関係性やつながり、時系列などが一目で分かる板書を心がける。子どもの声を位置づけ、広げられるようにしていく。
		振り返りの時間の確保	1時間で学べた内容や学び方を振り返る時間を確保し、子どもの考えの変容や定着状況を確認しているか。	自分の言葉で振り返りができる子が増えた。単元での振り返りはできたが、毎時間となると時間がとれないことが多かった。			○	振り返りの時間がとれるよう、授業展開を工夫する。
		家庭学習の充実	家庭学習のてびきをもとに、家庭と連携した家庭学習の充実に努めているか	家庭学習(宿題・自主学習)の取り組みに、差が開きつつある。その子に合った学習のアドバイスをしながら、その差を縮めていきたい。			○	ほめる、はげますを繰り返していく。「つむぐ」を活用し、家庭との連携を深める。「今日の授業の復習」としての位置づけも大切に考え
	②	楽しくけじめある学校生活	「挨拶・返事・靴そろえ・場に応じた姿勢」を大切に、児童会と連携して安全、安心、快適な学校生活に向けて取り組んでいるか	姿勢のセルフチェックシートを活用し、よい姿勢づくりの体操を全校運動で学び合い、意識化してきた。しかし、あいさつ・姿勢・廊下歩行などに、課題が見られた。			○	児童会と連携しながら、あいさつや姿勢が思わしくない児童に対しては、意識できるような声がけをその都度していく。
		異年齢の友だちとの活動	共遊、ペア読書などの異年齢活動をとおして、子ども同士が温かい言葉をかけ合い、相手を思いやる意識が高まったか。	共遊や児童会連絡、ペア給食、清掃を通して、ペア学級の児童を楽しませよう・喜ばせようという意識の児童が多く見られた。			○	児童会活動の一環として、ペア活動を継続していく。決められた活動以外でもペアの学習を取り入れていく。
		交流活動の充実	地域の方々や園児・福祉施設の方々との交流活動を児童が楽しんで関わり合えるよう取り組んだか。	2年生では附属幼稚園との交流会を楽しく行うことができ、2学期にも行う約束を、手紙を通して温め合うことができた。一方で、地域との交流の機会のない学年			○	各学年で保育園交流・デイサービスセンターなどとの交流を計画して実践していく。
③	よく考え行動する児童の育成	よく話を聴き、深く考え、自ら気づいて行動する気持ちを高めたか。	児童によって個人差があるが、全体的には話を聴く姿勢が育ってきた。			○	教師が、発達段階に応じた言葉遣いをして、児童に分かる話し方を工夫していく。	
	体力向上の継続的な活動	マラソンや縄跳びを取り上げ、進んで継続的に体力向上に向けた活動ができるよう指導を工夫できたか。	マラソン月間などでマラソンをしたり、体育でサーキット運動を取り入れたりした。進んで運動する子と、そうでない子との差が大きい。			○	マラソンは、クラス全体で取り組んでいこうような雰囲気を作っていく。	
	仕事に対する意識の醸成	清掃活動や当番活動・係活動、花壇での花作り等を通して役割を担うことの大切さや仕事に対する意識を醸成したか。	植物の栽培・動物の飼育・日々の清掃活動を通して、仕事の大切さや達成感をえることができた。			○	清掃活動では、班全員が片付けの確認までできるよう指導していく。清掃前に集まり、気持ちを整えてから行う。	
学校運営	地域との連携	学校支援ボランティアとの連携を通して、読書・学習・体験活動・交通安全に対する意識を高めたか。	上田市の「本はともだち」の事業に申し込み、学年で年6回取り組む。読み聞かせやチャレンジタイム、親父の会などの皆さんのおかげで充実した学習ができた。			○	今までの活動を継続しつつ、さらに連携をして充実した学習をすすめていく。	
	学習指導	授業のユニバーサルデザイン化	一人一人の子どもにもわかりやすい授業となるように、学習環境・言語を整えることができたか。	「視覚支援」「言葉は端的に」を意識して授業にのぞめた。書くことに抵抗がある児童がおり、対策が必要。			○	視覚支援の充実と短く分かりやすい説明ができるよう努力する。学習カードの工夫をしていく。
	研修	職員研修の充実	子どもから学び、子どものための授業にするために、教職員が互いの実践に学び合いながら研修し、授業に生かすことができたか。	UD化や自主学習への取り組み研究授業、生活科の研究授業など、とても勉強になった。先生方の実践に学び、相談しながら授業改善することができた。			○	合理的配慮ができるよう、意識して授業にのぞむ。先生方からの要望や次期指導要領についての情報を共有できる研修を行っている。
	生徒指導	いじめへの対処	いじめを防止し、いじめが起きた際適切に対処することができているか。	なかよしアンケートやふだんの子どもたちの様子から、気になることは指導し対処できた。何か問題が起きた時は、すぐに対応・連絡報告ができるよう意識してきた。保健室での子どもたちの様子から気になる事について関係職員と連携することができた。			○	おきる前にクラスや学年の実態を全校で共有し、防止のために共通理解をする。子どもたちの様子についてアンテナを高くし、全職員で連携していく。早期発見早期対策を心がける。